

12/9 Tue.

企業×NPO×行政×社協
ともに備え、ともに支える

企業を担い手に加えた 4者連携災害支援シンポジウム

被災地に企業の力を。 4者でつくる未来の防災・減災

気候変動により九州では豪雨などの災害が頻発し、佐賀県・福岡県では多重被災が常態化しています。地域の支援を必要とする人へ確実に届ける仕組みづくりが急務です。

本シンポジウムでは「行政・社協・NPO・企業」が連携する“4者連携モデル”に注目し、企業の人材・資金・専門性を活かした新たな支援の形を探ります。休眠預金を活用した事業紹介や交流を通じ、現場の課題と連携の可能性を共有します。

第1部 Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

令和7年8月大雨災害 支援活動報告・検証会

災害支援ふくおか広域ネットワーク

会長：平川文

行政・社会福祉協議会・NPOなど多主体が連携し、平時からの備えと災害時の支援をコーディネートする中間支援組織である。災害ボランティア活動の調整、情報共有、センター運営支援などを通じ、支援の「もれ」「むら」を減らすことを目指す。



シンポジウム概要

[日時] 2025年12月9日（火） 13:00～16:30

[会場] 福岡証券ビル8F セミナールーム（福岡市中央区天神2-14）オンライン参加可

[対象] 防災減災・災害支援に関心のある企業、NPO、行政、社協、地域住民

[参加費] 無料

[定員] 30名

[共催] 一般社団法人 佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）

災害支援ふくおか広域ネットワーク(Fネット)

※オンライン参加の方には申し込み完了後、別途ご案内をお送りします。



一般社団法人アースプロジェクト福岡

代表理事：樋口朋晃

学生や地域と協働し、被災地支援や災害ボランティア育成に取り組む団体である。平時から連携づくりを進め、地域の備えと支え合いを強化している。



第2部 事例紹介

株式会社 J WORKS CAREER

代表取締役：西林 裕起

災害時の情報収集や初動対応に役立つドローン運用の仕組みづくりを進める。自治体や地域団体と連携し、現場で活用できる運用モデルの構築や人材育成、研修を行い、地域の防災力向上に取り組む。



申し込みはこちらから

